

地域おこし協力隊とは

都市に住む人たちに、地方での地域おこしなどに取り組んでもらい、同時にその地域への定住を進めて地方の活性化につなげるという、総務省の取り組みの一つです。

隊員は主に都市部の人を対象として市町村が委嘱。1〜3年間地方に移住し、その地域のブランドや地場産品の開発・販売・PRなどの地域おこし支援や、農林水産業への従事、地域づくり支援を行ないます。

「都会を離れて地方で生活し

合志市で

地域おこし協力隊

始めました。

—その1—

なぜ本市の協力隊に？

大学進学と同時に熊本市に引っ越してきました。卒業後は熊本市や大分市で働き、縁あって再び熊本へ。今回、合志市地域おこし協力隊の募集を知り、活動内容の「空き家問題」に興味があったため応募しました。

合志市の印象は？

熊本市のベッドタウンとして利便性が高く、自然豊かで住みやすいまちという印象です。人口減少が続いている市町村が多い中、合志市は人口が増え続けている地域なので、これからもどんどん魅力的なまちになっていくと思います。

どんな活動をしていますか？

空き家マイスターとして「地域住民との空き家の発掘調査」「合志市への移住、定住に関する情報発信」などを行ないます。近年、多くの市町村で発生している空き家問題。合志市も例外ではありません。空き家の利活用はもちろん、空き家予備軍を増やさないためにも、さまざまな角度からアプローチしていきます。



来年度からの本格始動に向けて綿密な打ち合わせをする稗田さん

合志市地域おこし協力隊  
ひえだ ゆうき  
稗田 雄基 さん(26)

出身・佐賀県唐津市  
趣味・フットサル・野球  
特技・絵を描くこと

3年後どんな合志市にしたいですか？

東洋経済新報社が毎年公表する「住みよさランキング2016」で、合志市は全国43位(九州・沖縄地区1位)でした。空き家を利活用し、地域の価値の維持・向上を図ることで多くの人を呼び込み、これからは合志市を「住みたいまち」「選ばれるまち」にしたいです。

●問い合わせ先 政策課 政策班(合志庁舎)  
☎248-1028

※次回はもう一人の隊員、牧野内正雪さんをご紹介します。

交通安全・防犯

よしだ よういち  
吉田 陽一 さん  
(黒石原)



交通事故防止のため、12年前から児童の登下校時に交差点での交通安全指導を行なっています。また、通学路の清掃や除草活動も行なうなど、地域の児童・生徒に安心を与えています。

福祉

なるせ しょうへい  
成世 昌平 さん  
(大阪市)



菊池恵楓園入所者との文通をきっかけに、20年にわたってボランティアで民謡の慰問コンサートを続けています。入所者や市民に大きな喜びと希望を与え、両者の交流のきっかけづくりに大きく貢献しています。

環境保全

よしおか よしのすけ  
吉岡 芳之助 さん  
(上古閑)



9年前から上古閑地区内の県道沿いの歩道や土手の除草・清掃活動を続け、環境美化や住みよい地域づくりに積極的に取り組んでいます。

福祉

やました かずえ  
山下 一恵 さん  
(菊池市)



平成8年に「合志市音声訳ボランティアグループこだま」の前身の立ち上げを支援し、それ以降も「こだま」の技術向上のため、20年間、月1回の勉強会で音読の講師を務めています。

団体の部



くろいしはるけんこうたいそうあいごうかい  
福祉・教育活動 黒石原健康体操愛好会  
健康維持のため、平成14年の設立以来毎週1回、黒石原コミュニティセンターで体操をしています。参加者は高齢者が多く、地域の交流、閉じこもり防止など、地域福祉の向上にも大きく貢献しています。



いずみがおか ちょうない はな かい  
環境保全 泉ヶ丘1町内 花の会  
泉ヶ丘中央公園の花壇の手入れを10年以上行なっています。7月と11月の花の植え替え、真夏の水やりなど、1年を通して美しい花壇の維持に努めています。(写真は代表の森 理之郎さん)



ひらしまろうじんかい  
環境保全・相談活動 平島老人会  
平島区集落センターをはじめ、天神様や薬師堂の清掃活動、樹木の剪定・除草などを10年以上行なっています。通学路や空き地の除草、花の植栽なども定期的に行ない、地域の美化に貢献しています。



はるぐちろうじん  
環境保全 原口老人クラブ  
昭和46年の原口墓地公園完成以来45年間、年10回ほど公園の清掃や管理をしています。クラブが手入れした桜やつつじは道行く人の目を楽しませ、公園は地域住民の集いの場所としても親しまれています。